

技術展示コーナーを担当して

高 橋 幸 久 (たかはし ゆきひさ)

技術展示部会長 大成建設㈱



1. はじめに

第49回地盤工学研究発表会（北九州大会）の技術展示コーナーは、平成26年7月15日～17日の3日間にわたって、北九州国際会議場1階及び西日本総合展示場AIMビル3階において開催しました。

技術展示では51の出展者から54ブースの出展があり、地盤工学に関係する様々な展示をして頂きました。

台風8号が通過し、天候にも恵まれ、3日間で延べ約2000名の方々に来場して頂きました。

2. 事前準備他について

- ブース数と会場の検討：広さの制限から50ブース以上を目指しました（最大54）。会場が2か所となるため研究発表会分野と出展ブースの内容が極力関連したものになるように、ブース割り付けを計画しました。
- 出展者の募集：昨年の富山大会、九州建設フォーラムの出展者を候補者リストに挙げ、Eメール、電話にて募集活動を行いました。目標ブース数の確保は大会収支の面からも重要です。大会実行委員長、学会長、教授他からの声掛け、締切後の再要請などが有効でした。
- インターネット公開：地盤工学会ホームページに、技術展示コーナー出展募集のお知らせ、技術展示出展企業一覧（各社ホームページにリンク）、技術展示のしおり、参加者のしおり等、を公開しました。
- 出展者リスト：事務局にて申込書の集計を行い、出展者リストを作成しました。これを用いて、ブース割り付け検討、請求書・領収書等の送付を行いました。
- 技術展示案内書：ブース配置、出展物の搬入搬出方法、料金払込先等の案内書を出展者に送りました。
- 技術展示のしおり：技術展示の概要と出展者の広告を掲載した技術展示のしおりを作成しました。
- 部会マニュアル：当日行うことを部会マニュアルに記載し、技術展示関係者に配布しました。
- 無料ドリンクコーナー：動線を考慮し2会場に4か所無料ドリンクコーナーを設けました。水、コーヒー、ウーロン茶の3種類を用意しました。
- 引継ノート：毎日の留意事項を関係者に伝達するため、引継ノートを作成しました。

3. 大会中の状況

東畑地盤工学会長の挨拶から技術展示コーナーの初日

は始まりました。

技術展示コーナー担当者の仕事は、会場案内、要望事項への対応、無料ドリンクバーのドリンクの補充・清掃、出展者への資料等の配布、アンケート回収、ゴミ収集、他でした。尚、合間をみて出展ブース巡りができ、よい勉強ができたようです。

ブース配置によっては来場者数に差異が生じたと思われますが、後述の4. アンケート結果に示すように各社から今回の技術展示の効果については、高い評価を頂きました。

4. アンケート結果

- 出展の方々にアンケートを行った結果を以下に示します（回答率は96%でした）。
- ①今回出展者の内、前回富山大会の出展者は65%、不出展者は35%であった。
 - ②各出展者への来訪者数は平均69名、最大は220名であった（3日間）。
 - ③展示会場：交通の便が大変よい、概ねよしとの回答であるが、社名にブース番号を付けてほしい、通り抜けができない所がある、もう少し明るく、やや狭い、商談コーナーが欲しい、等の回答があった。
 - ④技術展示の効果：営業上の効果が高く有意義であった、最新技術の動向が分かる、技術収集ができた、九州での認知度アップができた、大学の先生と直接交流ができた、遠方の知人と再会できた、様々な方から意見を頂いた、社員の教育ができた、等の回答であった。
 - ⑤出展料は、適当が35%、やや高いが37%、高いが29%であった。
 - ⑥来年（in札幌）の出展意向：出展が43%、未定が57%であった。
 - ⑦その他意見：小中高校生の来場があってもよい、官公庁の来場者が少ない、会場は1つがよい、来年はアジア地域会議（in博多）もあり両方の出展はできない、技術展示コーナーを意見交換の場所にしたい、懇親会のチケットは2枚欲しい、出展ブースへの集客努力を要請する、等の回答であった。

5. おわりに

最後に、出展者は元より、来場の方々、技術展示に協力して頂いた関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

(原稿受理 2014.8.26)